

鴻中だより

令和8年
1月8日
第9号

発行
鴻巣市立鴻巣中学校
校長 服部幸司
電048-541-0272
☎365-0039
埼玉県鴻巣市東2-4-62
<https://konosu-j.konosu.edumap.jp>

新しき日、カラタチの木を伐れない理由

鴻中創設にあたつた町の方々の熱意と
山田耕筈の人生に思いを馳せる



業記念品を守るかのように鴻巣中を知り尽くす木々たちが群生しています。

本校には、「校木（学校の木）」と言われる木が3つあります。開校当初から校庭で躍動する鴻中生を見守り続けている「モミジの木」、保健室前に立つ「雌雄の銀木犀」、そして、駐車場拡張と危険防止のため、歴代校長に何度も狙われてきた「力ラタチの木」です。

5 cmはある鋭いトゲとポトリポトリと落ちる黄色い実で悩ませる「カラタチの木」を伐ってしまえば、車一台分は安全に確保できます。しかし、「カラタチの木」の歴史を知ると伐ることはできなくなるのです。

カラタチの木は、その鋭いトゲがあることから、防犯目的で生け垣によく使われていました。また、特に北関東では畑の境目によく植えられていたそうです。昔は、建物も少なく強い風が吹くと、どこからどこまでが自分の家の畑かが分からなくなってしまうため、その目印として、人があまり近寄らない



さらに、カラタチの木は、本校の宝である校歌作曲した山田耕筈と深い関係があります。「からたちの花」は、北原白秋作詞、山田耕筈作曲による文部省唱歌ですが、少年山田耕筈のつらい体験を知った北原白秋が、その耕筈の思い出をもに作った詩とされています。確かに、耕筈は10歳の時に実父を亡くし、養子に出され、活版

校長 服部幸司

です。つまり、本校も、昔は畑
だったということです。一面の
畑だったところを、当時の鴻巣
地域の方々の熱意と努力で、校
舎・校庭が整備されてきたので
す。

3年生保育実習を終えて

12月11日(木)～17日(水)の期間、3年生は鴻巣保育所で保育実習を行いました。実習当日、中学生が家庭科の授業で自作した「おもちゃ」を持参しました。「ビー玉転がし」「輪投げ」「もぐらたたき」等、1歳から5歳の年齢に対応したおもちゃで、幼児が取り合いになるほどの人気でした。幼児達が「おにいさん、おねえさん 大好き」と言って屈託のない笑顔で懐いてくれたことに中学生もとても嬉しそうでした。



思春期防煙・薬物乱用防止教室

違法・合法ドラッグ

12月12日(金)本校体育館において、「思春期防煙・薬物乱用防止教室」が開催されました。講師として薬剤師の小川 啓太郎 氏をお招きし、演題「薬剤師がおススメしないヤクヅツの話」で講演いただきました。「たばこ等の薬物がもつ常習性」「人体への影響や危険性」「合法ドラッグは違法ドラッグ」「喫煙の誘いの断り方」等、中学生の心に深く刻まれる内容でした。



（印刷）工場で働きながら夜学で学んでいます。工場ですらい目に遭うと、カラタチの垣根まで逃げ出して泣いたそうです。

新入生保護者説明会

日時：令和7年2月6日（金）
受付 13時50分～
説明 14時20分～15時30分
会場：鴻巣中学校 体育館
お願い
(1) 入学届、上履き（スリッパ等）、下ばきを入れるビニール袋をお持ちください。
(2) 駐輪場は、校庭のバスケットボールコートの方フェンス沿いです。
(3) 体育館は冷えますので、あたためた服装でいらしてください。
(4) ご不明な点がありましたら、教頭 村上にお問い合わせください。
TEL048-541-0272

[illegible]

